

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

自転車による交流人口拡大プロジェクト

2 地域再生計画の作成主体の名称

益田市

3 地域再生計画の区域

益田市の全域

4 地域再生計画の目標

4-1 地域の現状

益田市は、美しい日本海、水質日本一にも輝いた清流高津川、緑豊かな山々に囲まれており、国道を除く一般道路は交通量が比較的に少ないため、サイクリングを楽しむには適した環境を持っている。

市内では、NPO 法人益田市・町おこしの会が中心となって年 2 回自転車のイベントが開催され、市内外をはじめ全国各地のサイクリストに益田市における自転車環境の良さが認知されてきている。特に、そのイベントの一つである「益田チャレンジャーズステージ」については、全日本自転車競技選手権大会ロードレースにも位置付けられ、19 歳以下の青少年の日本一を決定する大会として開催されている。

また、平成 27 年度に策定した「益田市観光振興・MICE 誘致計画」においてサイクリング等によるニューツーリズムを推進することにより自転車を通じた交流人口の拡大を目指すこととしている。

こうした中、益田市として 2020 年に開催される東京オリンピック・パラリンピック競技大会の自転車競技における事前キャンプ誘致に関する意向を表明し、益田市に事前キャンプを誘致することで交流人口の拡大とスポーツの振興に加え、オリンピックの理念に多くの市民が触れる機会を提供したいと考えている。

4-2 地域の課題

サイクリストの受け入れについては、島根県において益田市の空の玄関口である「萩・石見空港」にサイクリスト用の更衣室が設置されるほか、民間企業においてサイクリストに配慮した宿泊施設の建設が計画されている。

また、サイクリストの誘客に取り組む企業自らがサイクリストの誘客に協力する宣言を行い、官民一体でサイクリストを誘客する「益田市サイクリスト誘客協力宣言企業登録制度」の創設など様々な方面で環境整備や機運醸

成が進みつつある。

しかしながら、現状では益田市にはサイクリングコースを紹介する「サイクリングマップ」はなく、サイクリングの先進地によくある「道路への案内サインや看板等」もないこともあり、初めて益田市に来られた方が初めて走る道路を迷わずに快適に走れる受け入れ環境の整備が十分ではない。

益田市に国内外からサイクリストの方を誘客するためにはマップやサイン等を含めサイクリストを受け入れる環境整備が求められている。

4-3 目標

本事業は、益田市観光振興・MICE誘致計画にも掲げている「サイクリング等によるニューツーリズムの推進」について、また、国内外からサイクリストを誘客するために自転車を通じたまちづくりと交流人口の拡大を目指し、首都圏・関西圏からの誘客による萩・石見空港の利用促進にもつなげる。

具体的取り組みとしては、サイクリストが安心でかつ快適にサイクリングが楽しめるような環境を整備し、益田市に国内外からの新たなサイクリストを誘客する。

この取り組みにより、国内及び海外から益田市に自転車で走りに来ていただくことで地域経済にも波及効果を与え、益田市民を挙げてサイクリストを歓迎し、満足して帰ってもらい、また来てもらうおもてなしの取り組みにつなげる。そして市民自らも気軽に自転車に乗ることで、自転車をもっと身近な物として感じていただき、「自転車」をキーワードとした国際交流の推進と交流人口の拡大を図る。

【数値目標】

事業	自転車による交流人口拡大プロジェクト		年月	
KPI	萩・石見空港サイクルステーション利用者数		-	
	県内	県外		
申請時	一人	一人	一件	H29.9
初年度	5人	95人	20件	H30.3
2年目	10人	190人	25件	H31.3
3年目	10人	290人	30件	H32.3

※「萩・石見空港サイクルステーション利用者数」は各年度の実績見込み数

※「益田市サイクリスト誘客協力宣言企業登録数」は累計値

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

2020年の東京オリンピック・パラリンピック自転車競技ロードレースの海外チームの事前キャンプ誘致に関する取り組みを進め、スポーツの振興と誘致国との新たな国際交流の推進を図る。

併せて、事前キャンプ誘致を契機として、サイクリストが安心して、かつ快適にサイクリングが楽しめるような環境を整備し、益田市に国内外からの新たなサイクリストを誘客し、交流人口の拡大を図る。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

(1) 事業名：自転車による交流人口拡大プロジェクト

(2) 事業区分：観光業の振興

(3) 事業の目的・内容

(目的)

サイクリストが安心して、かつ快適にサイクリングが楽しめるような環境を整備し、益田市に国内外からの新たなサイクリストを誘客し、交流人口の拡大を図る。

(事業の内容)

・道路への案内サインの設置

国内外から益田市に来られたサイクリストが安全かつ道に迷うことなくサイクリングコースを走ることができるように道路へ案内サインを設置する。

・サイクルスタンドの製作及び貸与事業

サイクリングを楽しむ大半の方が乗っている自転車はロードバイクまたはクロスバイクであり、これらの自転車にはスタンドが付いていないので、休憩時等には自転車を壁に立て掛けたり、ガードレール等に固定して駐輪しているのが現状である。そこで、自転車を駐輪するサイクリングスタンドを製作し、サイクリストの誘客に協力いただける施設等への貸出（貸与）を行う。なお、サイクリングスタンドの材質については、益田市を流れる清流高津川の流域材を活用する。

- ・サイクリングマップの作成

益田市のサイクリングコースを紹介するマップを作成し、首都圏や関西圏で開催される自転車に関する展示会等に配布するなど、新たなサイクリストの誘客のためのツールとして活用する。

各年度の事業の内容

年度	事業内容
H29年度	・サイクルスタンドの製作 ・サイクリングマップの作成 ・道路へのサインの設置に係る関係機関との協議
	・首都圏・関西圏からのサイクリスト誘客活動
H30年度	・サイクルスタンドの製作 ・サイクリングマップの作成 ・道路へのサインの設置工事
	・首都圏・関西圏からのサイクリスト誘客活動
H31年度	・道路へのサインの設置工事
	・首都圏・関西圏からのサイクリスト誘客活動

(4) 地方版総合戦略における位置付け

本市の総合戦略の基本目標「定住の基盤となるしごとをつくる」の推進施策として地域資源を活かした観光振興、特に、サイクリング等によるニューツーリズムの推進、東京オリンピック・パラリンピック自転車競技の事前キャンプ誘致を契機とした自転車によるまちづくりの推進による交流人口の拡大を図ることとしており、重要業績評価指標（KPI）として「観光入込客数 100万人（H31年）」、「事前キャンプを実施する海外チーム 1チーム（H31年）」を掲げている。本事業は本市の自転車環境の魅力を市内外へ効果的に伝え、国内外からの観光客やサイクリストの誘客など交流人口の増加に寄与するものである。

(5) 事業の実施状況に関する客観的な指標 (KPI (重要業績評価指標))

事業	自転車による交流人口拡大プロジェクト		年月
KPI	萩・石見空港サイクルステーション利用者数		益田市サイクリスト誘客協力宣言企業登録数
	県内	県外	
申請時	一人	一人	一件
初年度	5人	95人	20件
2年目	10人	190人	25件
3年目	10人	290人	30件

※「萩・石見空港サイクルステーション利用者数」は各年度の実績見込み数

※「益田市サイクリスト誘客協力宣言企業登録数」は累計値

(6) 事業費

(単位：千円)

	年度	H29	H30	H31	計
	事業費計	3,000	3,000	3,000	9,000
区分	需用費	500	500	0	1,000
	備品購入費	400	300	0	700
	委託料	500	0	0	500
	工事請負費	1,600	2,200	3,000	6,800

(7) 申請時点での寄附の見込み

年度	H29	H30	H31	計
法人名	サン電子工業株式会社	サン電子工業株式会社	サン電子工業株式会社	—
見込み額 (千円)	3,000	3,000	3,000	9,000

(8) 事業の評価の方法 (PDCAサイクル)

(評価の方法)

外部委員で構成する総合戦略審議会や議会の関与を得ながら検証結果報告をまとめる。また、必要に応じて地方版総合戦略や今後の事業経営方針に反映させる。

(評価の時期・内容)

決算数値が確定後の7月に外部有識者(総合戦略審議会委員)による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する予定。

(公表の方法)

目標の達成状況及び検証結果については、毎年度検証後速やかに益田市公式WEBサイト上で公表する。

(9) 事業期間：平成30年1月～平成32年3月

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

(1) 事業名：東京オリンピック・パラリンピック自転車競技の事前キャンプ誘致事業

- ・事業概要：2020年の東京オリンピック・パラリンピック自転車競技ロードレースの海外チームの事前キャンプ誘致に関する事業及び相手国と市民との交流事業
- ・実施主体：益田市
- ・事業期間：平成29年度～平成31年度

6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成32年3月31日

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況にかかる評価の手法

外部委員で構成する総合戦略審議会や議会の関与を得ながら検証結果報告をまとめる。また、必要に応じて地方版総合戦略や今後の事業経営方針に反映させる。

7-2 目標の達成状況にかかる評価の時期及び評価を行う内容

決算数値が確定後の7月に外部有識者(総合戦略審議会委員)による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する予定。

7-3 目標の達成状況にかかる評価の公表の手法

目標の達成状況及び検証結果については、毎年度検証後速やかに益田市公式WEBサイト上で公表する。